

## 稲子地区定住推進委員会平成 25 年度の活動報告

項目	場所・時期	内容
1 芝川日和「梅の里 稲子まつり」への参加	6月16日 ユー・トリオ	稲子地区定住推進委員会のPR活動
2 第1回定住推進委員会開催	7月30日 上稲子区民館	平成25年度定住推進委員について 平成25年度事業計画について
3 第2回定住推進委員会開催	9月25日 下稲子公民館	空き家物件の状況について 田舎暮らしの本の取材について
4 第3回定住推進委員会開催	10月16日 上稲子区民館	空き家物件の状況について 空き家見学会の開催について
5 ふじのくに交流・定住促進セミナーへの参加	11月20日 静岡市	～職を生み出す地域づくりに向けて～ ・ 取組事例紹介 ・ 講演「創造的過疎への挑戦」
6 第4回定住推進委員会開催	12月2日 下稲子公民館	空き家物件の状況について 空き家情報の発信方法について
7 第5回定住推進委員会開催	1月29日 上稲子区民館	空き家情報の発信方法について 定住推進ニュースの発行について
8 静岡大学農学部発表会へ参加	2月20日 静岡市	農業環境リーダー認定式
9 第6回定住推進委員会開催	3月4日 下稲子公民館	定住推進委員会ニュースについて

※ 現在、稲子地区定住推進委員会のホームページを製作中です。空き家情報を提供するだけでなく、ブログ形式により、稲子地区の地域情報や魅力も発信する事を検討しております。

### ホームページアドレス

題名「水とみどりの里 稲子へ住もう」 <http://inakoteijyu.blog.ocn.ne.jp/>

連絡先： 委員長 佐藤捷世 (TEL 0544-67-0446)

### 空き屋物件の情報提供のお願い

稲子地区定住推進委員会では、稲子地区の空き家物件を探しています。皆様のご近所にある空き家の情報や建物の賃貸や売却を御検討されている方の情報の提供をお願いいたします。

事業の趣旨を御理解いただき、賃貸料金、売却価格ともに低額で御提供いただける物件などございました、下記委員に情報をお知らせください。

### 定住推進委員会委員名簿 (平成25年度)

委員長	佐藤 捷世	上稲子	委員	佐野 一男	上稲子
副委員長	遠藤 郷一	下稲子	委員	中島 邦彦	下稲子
委員	齋藤 静	上稲子	委員	後藤 榮治	下稲子
委員	佐野 美喜男	上稲子	委員	佐野 正光	下稲子
委員	佐野 武行	上稲子	委員	佐野 敬治	下稲子
委員	中野 博康	上稲子			

## 稲子地区定住推進委員会ニュース

(第2号：平成26年4月発行)

### 定住推進委員長挨拶

私たちが、「水と緑の里・稲子に住もう」と稲子地区定住推進委員会を立ちあげてから6ヶ年が経過しました。改めてふり返ってみますと、この事業が、「この土地で人生を終わりたい」との地区住民の熱い想いに多少なりとも力になれたのではないかと思います。

高齢者が増え、子どもたちの数が減り、集落の規模が縮小していくという過疎化の流れをせき止めることはできませんが、人が年齢に関係なく楽しく生きていくということには貢献できていると思います。稲子上下両区の推進委員が定期的に会合をもち、稲子の明日を考え続けることこそ、定住推進委員会の存在意義があるとおもいで、これからも活動を続けていきたいと思っています。



稲子地区定住推進委員会  
委員長 佐藤捷世

### 上稲子区長挨拶

現在日本全国の空き家は、約760万戸もそのままあるとの事。

私達の稲子も物件は在るのに活用できない、手が出せない、結局平成24年、25年の2年間、空き家見学会が実施できなかった。そんなもどかしさを嘯み締めながら、この3年間お手伝いしてきましたが、この事業はほんの4~5年先の近い将来、稲子にとって継続してよかった、途中で解散しなくて良かったなと思える時が必ず来ますので、推進委員長をはじめとして事務局を含め、空き家物件探し、定住希望者探しを誰一人断念してはおりませんので、住民の皆様には今後とも御理解と物件情報提供の御協力をいただけますよう、お願いを併せましてご挨拶いたします。



上稲子区長  
齋藤 静  
(平成25年度)

### 下稲子区長挨拶

空き家を活用し定住人口を増やし、稲子地区の活性化を図りたいという事業目的で平成20年に稲子地区定住委員会が発足し、5年の月日がたちました。その間、最初に入居された方の中には、消防団に入られたり、また子ども達はランドセルを背負って小学校に通っています。消えかかった集落に再び灯りが灯りました。最初の目的の一つもありました、小学生を増やそうは、少しずつではありますが良い方向に向かっています。しかし最近、既存の空き家の老朽化や建物所有者の意向などにより物件が減少し見学会も中止となりました。掘り起こしが必要です。個性あふれる地域づくりのために、区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



下稲子区長  
中島邦彦  
(平成25年度)

## 新規定住者のご紹介



- ① お名前（年齢）
- ② 移住年月日
- ③ 定住理由
- ④ 夢
- ⑤ 困っていること
- ⑥ 現在の状況
- ⑦ 地域の皆さまにひとこと

① 黒松 光 クロマツ ヒカル（年齢30歳）

② 平成25年5月

③ 昔ながらの薪を使った暮らしをしたいと思っていた時に、それを実践している人が稲子にいた事と、その人の所に居候させてもらっている時に、地域の人たちが親切だったので定住を決意しました。

④ 里山の整備、ハーブ園を作ること。

⑤ 特になし。Problem is solution.

⑥ 今は薪を中心に煮炊きをしたり、夜はサラダ油ランプで暮らしています。冬になると暖をとるためにも薪を多く使います。そのため最近では薪の確保の重要さと大変さを痛感しています。昔は1月、2月は百姓ができない為、薪山を作るのだということを教えてもらいました。そういう山村での暮らしのリズムというのもこれから大切にしていきたいと思っています。その時によく聞くのは、昔はもっと山に行っていたという事と、もっと見晴らしがよかったという事。なので昔の風景を取り戻すような里山の整備なんかもできればやっていきたいと思っています。

⑦ いろいろな縁があって稲子に来ることができました。今もですが、地域の人たちにはいつもお世話になっていて感謝しています。これから少しでも稲子のためになることをやっいていこうと思っていますので、よろしくお願いいたします！



鍼灸師の免許をもっているので、お電話いただければ出張で鍼灸をおこないます！  
ギックリ腰、肩こりに効果あります。  
費用は2,000円くらいからなのでお電話でご相談ください！  
電話番号 090-5121-8643（携帯）



## 静岡県森山副知事が視察されました

去る3月15日、森山副知事が視察に訪れました。

森山副知事は、地域コミュニティの力を発揮して定住者を募集するだけでなく、定住後の相談などのアフターケアのある素晴らしい取り組みと評価されました。地方の伝統・風土の継承は重要で、新規定住者が地域に溶け込み、融和することで強固なコミュニティとなることを期待しますとお話されました。

須藤市長からは、稲子地区は道路環境の整備が課題となっていて、稲子駅近くの県道整備など積極的にお願いしたいと申し入れをしました。地域からも、台風災害での復旧工事では県に大変お世話になり、住民自治の中で防災意識の強い地域を目指し頑張りたいと伝えました。



## 定住推進事業の結実

稲子地区では、空き家が点在し始め、人口減少・少子化が著しく進行し、稲子小学校では、平成10年度には42人が在籍していましたが、平成20年度には7人になり、児童の減少は深刻な状況になっていました。

このような状況から、点在する空き家を活用して、移住者による定住人口を増やし地域の活性化を図ることを目的に平成20年8月に稲子地区定住推進委員会が発足し、今年度は定住推進事業を始めて5年が経過いたしました。

委員会発足後も稲子小学校の児童数は減少を続け、平成22年度には5人になりましたが、本年度の在籍児童は6人、来年度は9名となる予定です。

定住推進委員会の活動は少しずつではありますが実を結び始め、これからも繰り返し種を蒔き続けることが大切だと感じています。



平成26年4月 稲子小学校にて